

高炉台公園

八幡区中央町の丘陵にあるこの白い塔は、製鉄溶鉱炉を模したもので、高さ17.5メートル上端の直径は4メートル、その周囲には平和・勤労・自由・青春を象徴した像が建てられています。

九月定例会

九月定例市議会は、九月三十日にはじまり十月十七日に終わりました。

審議された議案は、昭和四十三年度決算をはじめ、昭和四十四年度補正予算、条例の一部改正、意見書など五十九件です。

これらの議案のうち、市長から提案された五十二件の議案は、人事関係議案三件を除き、決算特別委員会およびそれぞれ関係の常任委員会に付託され、慎重に審議が行なわれたのち、いずれも原案のとおり可決されました。また人事関係の議案三件は即決され、いずれも原案のとおり同意されました。

議員提案による意見書等七件もただちに採決され、二件を可決、五件は否決されました。

昭和44年11月1日

歳入、歳出決算状況 (単位千円)

会計別	歳入	歳出	差引額	
一般会計	46,318,116	44,986,735	1,331,381	
特別会計	25,555,184	26,059,811	△ 504,627	
企業会計	上水道事業会計	8,599,606	8,147,974	451,632
	工業用水道事業会計	1,307,025	1,301,750	5,275
	交通事業会計	1,037,254	1,106,415	△ 69,161
	病院事業会計	3,461,322	3,517,295	△ 55,973
	小計	14,405,207	14,073,434	331,773
合計	86,278,507	85,119,980	1,159,527	

四十三年度決算を認定

昭和四十三年度各会計の決算が九月三十日の本会議に提案されました。この日の本会議では、三人の議員が質問にたち、議案について市長の考えを聞いたのち、決算特別委員会を設けてくわしく審議することに決めました。委員会では、六日間にわたって、慎重に審議したのち、要望、意見をつけて、各会計決算は正当なものとして認めました。

一般・特別会計

昭和四十三年度一般会計の決算額は差し引き十三億三千百万円の

黒字となり、国民健康保険特別会計ほか十六特別会計では差し引き五億四百万円の赤字となっています。

両会計を合わせると形式的には八億二千万円の黒字となりますが、事業の繰り越しに伴い翌年度に繰り越す財源を差し引き、また前年度の赤字の穴埋めに使った財源を加えると八億一千万円の黒字を出したことになります。

企業会計

工業用水道事業を除く三企業はそれぞれ再建企業として事業の体質改善を図っています。

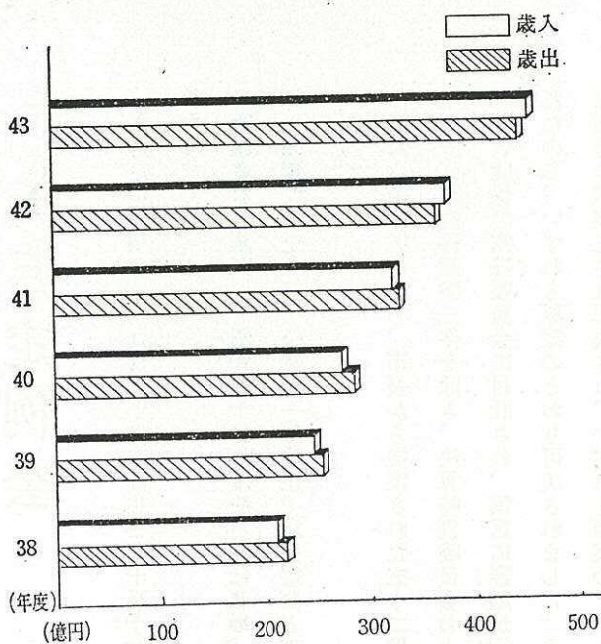
まず上水道事業会計では前年度に実施した料金改定および合理化などによる経費の節減により四億五千万円の黒字を生じましたが前年度末の赤字十一億円の解消にあてましたので累積赤字としては六億四千万円となっています。

工業用水道事業会計では配水量の増加に伴う料金収入の伸びにより五百万円程度の黒字となっています。

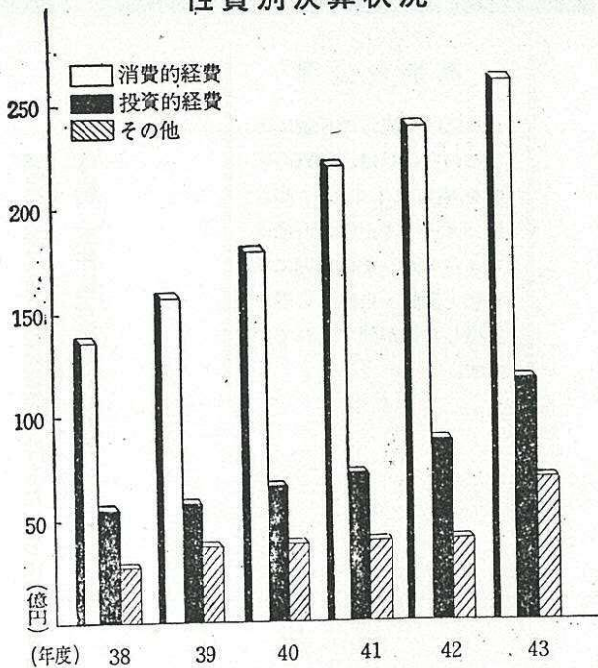
交通事業会計では、六千九百万円の赤字になっていますが、これは再建債の償還金一億一千二百万円が含まれているので実質は四千三百万円程度の黒字となり、累積赤字は十億八千三百万円となります。

病院事業会計では五千五百万円の赤字となっていますが、これは前年度の赤字五億五千四百万円に比べると大幅に好転しています。しかし累積赤字はなお十六億四千七百万円となっています。

一般会計決算収支状況



性質別決算状況



要 望 事 項

予算の補正などで

市民の要請にこたえよ

昭和四十三年度一般会計決算では、歳入面について特に地方交付税(前年度比較四四・八パーセント)市民税(十一・二パーセント)が膨大な伸びを示している。歳出面では、十一億一千万円の不用額が出ており前年度と比較し、六億四千九百万円の増となっている。

このようなことから、委員会では「収入面のは握が的確ではなかったのではないか」また「事業などが計画どおり行なわれなかったのではないか」などの意見がかわされたが、市民の要求が多い実情からこれらの財源を的確には握し、極力予算の補正を行なうなどの措置をとり、市民の要請にこたえるため、努力すること。

排気ガス防止に

法的規制を

大都市における大気汚染の原因の一つとして、自動車の排気ガスが取り上げられている。

排気ガスに含まれている一酸化炭素は公害源の中でも最も難物で

あり、一度排出されると自然に浄化される速度がおそくいつまでも大気中に漂って消えないといわれている。

この際、自動車に浄化装置の取り付けおよびエンジンの整備などについて行政指導を強く行ない、今後発売される新車については、浄化装置の取付義務あるいはエンジンの改造を行ない、最少限の排気ガスにとどめる義務を企業に課する法体系の整備を行なうよう関係各省に積極的に働きかけること

水洗化の促進に努力せよ

四十三年度現在の下水道普及率は十六・八パーセントでまず順調な事業の進ちよく状況といえるが、この下水道の整備と並行し

て、家庭などの便所の水洗化も当然進められるべきものである。

しかしながら、水洗便所改造貸付金、同助成金で多額の不用額を出していることは制度の活用が不十分で、必ずしも水洗化が、順調に進んでいないことを示している。この原因として、私道における下水道管布設に対する費用の負担あるいは、PR不足による貸付制度の不徹底などが考えられる。

この際、貸付金については無利子あるいは貸付限度額の引き上げ、さらには助成金の増額など有効に活用されるよう十分検討し、水洗化の促進を図るよう。

また、私道における下水道管布設についても関係部局と連絡のうえ、善処すること。

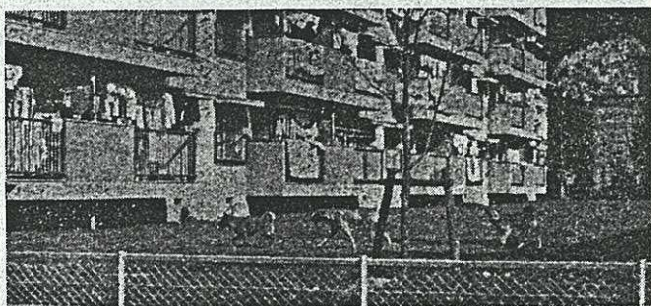
犬の放し飼いを

取り締められ

野犬対策

四十三年度の野犬捕獲の実績は、捕獲人による捕獲が一万五千三百五十五頭に対し、不用犬買上げ一千五百八十五頭、薬物捕獲一千七百一十一頭で捕獲人によるものがそのおもなものとなっている。

しかしながら決算実績では、多額の野犬対策費をつぎ込んでいながらもかわらず、野犬は減少のあとが見られず悪循環を繰り返している。捕獲人による捕獲頭数がいまより大幅に増加することはむず



わがもの顔で歩く野犬

あるものと思われる。この際、徴収方法を入居者が支払いやすい方法にするなど、事務全体の再検討をすること。

なお、住宅の修繕が入居者の要望どおり行なわれていないので、この点についても要求に十分応じられるよう予算上の措置もとるこ

失対事業の円満な

運営を図れ

昨年五月「失業対策事業運営管理規則」の実施以来、勤務状態や作業効率が向上したことは市民も認めている。しかしその反面、現場での運営をめぐりまだいざこざが絶えない。この際当局、就労者双方が信頼の立場にたつて協議し合う場をもち、円満な事業の運営を図ること。

保育所等の整備を図れ

この際、野犬撲滅のための技術的対策をたてるとともに、飼犬の放し飼いが野犬発生の最大の原因となっているので畜犬の係留を十分守るよう常に指導を行ない、犬害の防止に努力すること。

徴収方法の改善を図れ

市営住宅家賃

市営住宅家賃の滞納額が三千万円にも達している。これは現行の徴収方法あるいは機構上に原因が

社会情勢の変化に伴って共働き世帯が増加している現在、公私立あわせて八十一の保育所ぐらいいは、市民の要望に十分こたえているとはいえないので、私立保育所も含めて保育所全体の整備を図られるよう、また精神薄弱者収容施設建設、充実を図り、身体障害者についても生活訓練、職業訓練などを通じて自立更正、社会復帰がスムーズにできるための施策拡充を図ること。



排気ガスが充満する交差点



十月八、九、十一日の三日間、議案に対する質問や市政全般についての質問が本会議で行なわれました。以下、市民生活に關係の深いものから取り上げました。

適用年令の拡大を

敬老年金制度

A議員 老人福祉対策についての諸点を伺いたい。

①現行の敬老年金(八十才以上年額三千円)を七十五才以上とし、年金を大幅に引き上げることができないか。

②戸畑区にある高令者無料簡易職業相談所を各区に設置する考えはないか。

③老人健康診断の受診率がよくない。その原因はもし病氣と診断された場合、治療費が出せないことにある。

そこで、七十才以上の老人に対して医療費を無料にする考えはないか。

市長 ①年金額を引き上げるにすることはないが、市の財政状況も考慮せねばならない。支給範囲を拡げて欲しいとの希望が多いので、さしあたりこの方から拡大していきたい。

②実施以来、相当効果を上げて

山田弾薬庫の撤去をさらに強力に

C議員 今回、山田弾薬庫は

いるので拡充する考えだ。しかし各区に設置することは職業安定法との関連もあるので、当面は機能の充実と出張相談を考慮している。

③相当な財政負担を要するので医療制度全体の中で考えていく必要がある。いまのところ実施する考えはない。

C議員 今回、山田弾薬庫は基地そのものは縮小しないで、二百五十九人の日本人従業員のみ人員整理を行なう予定とのことだが、市議会も基地撤去の決議をしており、市長は国に対し弾薬庫の早期撤去を強力に要請するとともに、解雇者に対する生活救済の道をたてるべきと思うが、どのように対処されるか。

再検討すべきでないか

油症患者貸付金

あるか。

B議員 油症患者の要求は、生活資金を継続して年間最低二十四万円、最高六十万円を貸し付けて欲しいと訴えているのに、今回一度限り一世帯十万円(とくに市長が認めた場合は十五万円)の貸し付けを決定している。これでは生活に困っている患者にとっては納得できない。貸付金について再検討すべきと思うがどうか。

また、今後生活に困るといふ事態が起った場合、現実即した処理として貸付金を拡大する意思が

市長 加害者がカネミであるので、市が補償の責任をとる立場ではない。したがって市としてできることには限度があると思うし県や他市との調整も必要であり、その中でできるだけのことはしているつもりだ。

今後については、その事態に応じて判断すべきで、いまはつきり申しかねるが、油症患者の生活には常に重大な関心をもって見守っていききたい。

中小企業対策に

抜本策を

D議員 本市の中小企業対策はいろいろな面にわたって指導、助成等が行なわれているが、それでも倒産があとをたない。市長は今後どのような基本対策をたてるのか。市の中期計画に次のことを盛り込む考えはないか。

①来年から五か年計画で業種別の構造改善計画をたて近代化を図ること。

②海外進出の分野を開拓するたため、市独自の調査、あつせんを行ない、海外進出をした企業や輸出試作品に対して特別融資制度を設けること。

③大企業に対抗できる経済力の盛り込みたい。

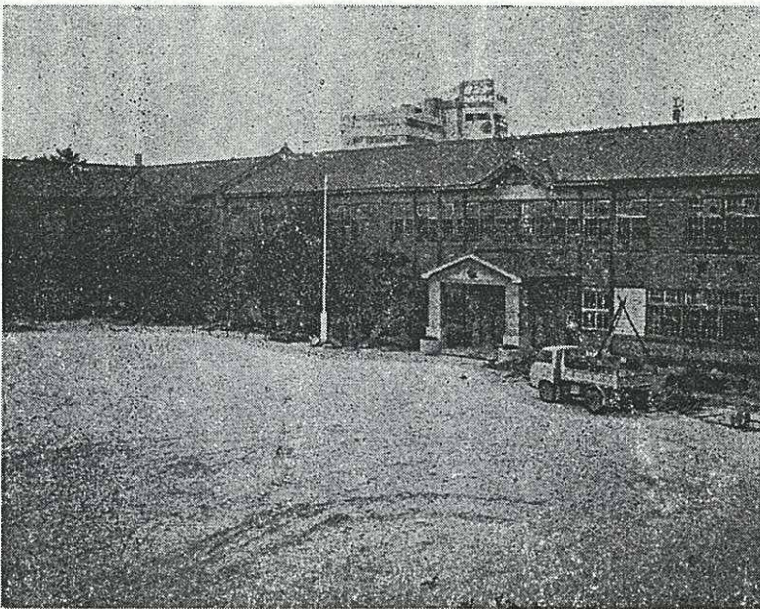
地元住民の意見を尊重

天神島小学校跡地

E議員 小倉区天神島小学校の跡地は、市街地で最も便利のよい場所であり、教育施設には最適と思われるが、最近、民間に払い下げようというわさが流れており、どのように利用するのか。

市長 教育施設には不向きである。また具体的な計画はないが、当地は密集地帯であるので、都市の再開発にプラスになる施設を作らなければならぬと思う。

また地元からいろいろな要望も出ているので、事前にその意見を十分聞きながら計画をまとめた



廃校になった天神島小学校

て弾薬庫の全面的な撤去を今後とも強く関係方面に働きかける。また

再就職のあつせん等にも最善の努力をする。

培養を図るため、一業種一業組合的な組織が確立できるよう指導すること。

市長 本市の中小企業は、大企業の大規模投資により、その系列にあつた中小企業にも大きな変化が見られ、他の大企業の進出、大分鶴崎地区の発展等による影響で大きな転換期を迎えつつある。今後ますます体質改善を図り、独自の技術を開発すべきで、また労働力の確保も大きな問題である。

市としても融資わくの拡大、技術の向上、資本の充実などの施策を押し進める必要があるので、中期計画の中で十分検討したうえで盛り込みたい。

保育施設の

整備拡充を図れ

F議員 ①共働きの人たちの切実な願いは、乳児保育施設の完備充実である。しかし現状は、入所させたくてもできないとのことだが、どのように対処するのか。また、保育の増員を図る考えはないか。

②保育所設置の年次計画はどうなっているか。

③無認可保育所に補助金を出してはどうか。

市長 ①乳児の収容数が減っているというが、とくに収容数を減らす考えはない。常に収容能力をフルに活用できるように努めたい。保育の増員はしない。②基本的には全庁的な配置を考え、中期計画の中におこみたい。

しかし、当面必要なところは中期計画を待たずに来年度も設置し



戸畑乳児保育所

たい。

③補助金を出す考えはない。できるだけ認可基準に達するように指導していかねばならないと思っている。

畜産公害を

放任するな

G議員 養豚、養鶏場から出される汚水や悪臭で周辺の住民は非常に迷惑している。産業公害等の対策は具体的に行なわれているのに、畜産公害は野放しの状態である。この対策をどう考えているか。

市長 取り締まりのむずかしい問題で手をやいている。本年度から畜産公害防止対策として融資制度を新しく設けている。

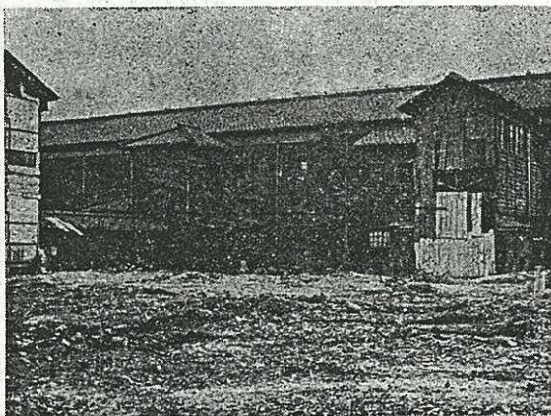
移転の申し入れがあれば、市としても積極的に土地のあっせんをしたい。

急げ不燃化対策

中学校校舎

H議員 本市の中学校校舎の危険率は六中市の中でもいちばん高い。災害を未然に防止するために

も早急に不燃化計画をたて、国の強力な補助を得て改築していくべきと思うがどうか。



改築をはじめた沢見中学校

また、小中学校の便所については何年計画で改善していくつもりか。

教育長 現在、危険校舎として認定されたものについては、四十七年度までに解消の予定である。しかし、計画を一年でも早く短縮するため、国の補助を少しでも多く出しても、よう努力する。

勤務時間の短縮は

やらない

I議員 四十三年四月から職員勤務時間を三十分延長したが、市民サービスにどれだけ効果があったか。

今後、従前の勤務時間に変更する考えはないか。

市長 現在六中市の中でも勤務時間がいちばん短いので、今ただちに変更する意思はない。ただ他市で短縮するようであれば、本市も検討したい。市民サービスの向上には、より大きな効果があったと思う。

ホームヘルパー制度を考慮

父子家庭対策

J議員 ①国民健康保険の被保険者が出産したとき支払われる助産費が九月一日から一万円に引き上げられるが、これぐらいの額では十分とはいえない。とくに貧しい家庭の母親が安心して出産ができるよう市独自の助産手当制度を

作り、一万円程度の助産祝金を支給してはどうか。②市内には母親のない家庭が多いが、この対策の一つとして父子寮を設置してはどうか。③最近、各地で発生しているスモン病について、本市の実態と対

策はどうか。

市長 ①他の市町村で実施しているところもあるが、これは過疎地域の人口確保がおもな理由のようである。本市としては将来の問題として考えたい。

②父子寮の設置はいろんな問題点もあり判断をしかねている。他にホームヘルパー制度も考えており、他市の状況も調査するなど、もう少し検討してみたい。

衛生局長 ④病原体の解明、治療法の確立のために厚生省は「スモン病調査研究協議会」を設置した。

この協議会が全国の実態調査に乗り出したので、本市もこれに協力するため四十二年一月にさかのぼってスモン病らしいと思われる患者の実態調査を市内の公私立病院に依頼した。現在五人の患者が出ている。

地盤沈下対策を

早急に

徳力山手団地

K議員 門司競輪場は陸上競技場と併用することで建設され、活用されてきた。ところが最近競輪開催日以外の日でも使用を禁止されている。

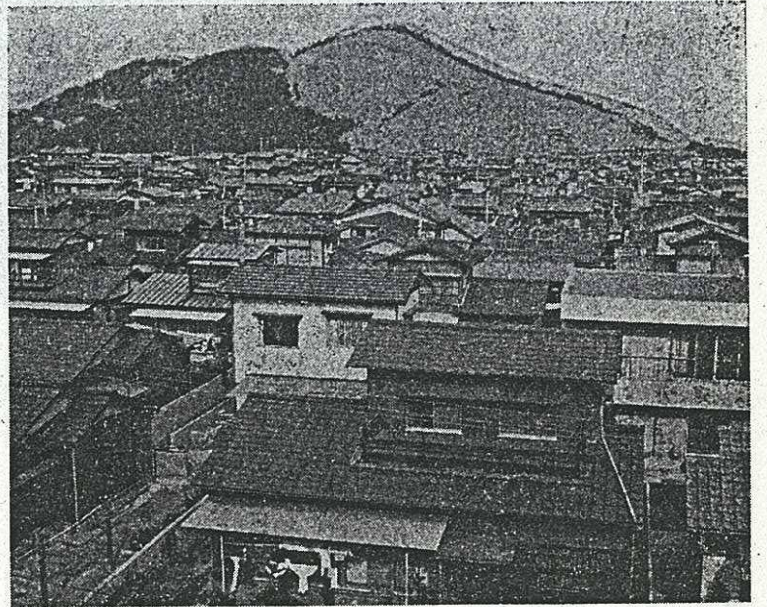
競輪開催日以外は、一日も早く陸上競技場を開放し、当初の目的どおり競技場として設備の充実をすべきではないか。

また、小倉区徳力山手団地は、市の分譲地ということで市民は安心して購入した。ところが二か年を過ぎたままでは、新築した家屋が地盤沈下のため傾いて、住民は不安な生活をしている。市はこれについてどのような対策をするつもりか。

市長 競輪開催日とその前日以外は全面的に開放する。なお午前中は競輪選手の練習があるのでサッカー等の球技はやめていただく。

建築局長 本年一月の中旬、最初の地盤沈下があった。五か所にボーリングしてモルタルなどを注入して沈下を防いでいる。

沈下の原因がはっきりしないので、沈下状況や水平移動を測定しており、この結果を検討して早急に対策をたて入居者の不安をなくしたい。



徳力山手団地

区域の設定は本年度末を目標

新都市計画

L議員 新都市計画法による市街化区域と市街化調整区域の区域決定はいつごろ決められるのか。

わたくしの聞いた限りでは、農民は市街化区域からはずして欲しい、できれば区域決定を待ってもいい、できれば区域決定を待ってほしいとの気持を持っているが、市長の見解を伺いたい。

また、市街化区域に指定された場合、その区域内の農地や都市計

画税の関係はどうなるのか。

市長 区域決定は県の関係、市の作業の進みぐあいから、本年十月末にはできないだろう。来年三月末を目標にしている。

農民は市街化区域からはずして欲しいという意見が強かったとのことだが、むしろわたくしはその反対の意見が多かったと聞いています。できるだけ市街化区域をせば

めて欲しいということであれば、この区域決定にあたって問題は無いのだが、そうではない意見が多いので困っている。いずれにしても土地所有者の意見は十分聞いたうえで決めたい。

市街化区域に入った農家で転業の希望があれば職業のあっせん、また、農業を続けたい人には市街化調整区域での農地あっせんをするなど農政上の配慮をしたい。都市計画税のことはまだはっきりしていない。

経済局長 市街化区域内に入った農地は、一挙に市街化されるわけではなく、当分の間農地として使用されるので、それまでは災害復旧、農業用施設の改修、その他の諸施策は従来どおり行なっていくようにしている。ただ効用が長期にわたるような土地基盤事業などは公共投資をしないことを原則としている。

えはないか。

教育長 現在は一般家庭の水を利用している。ポンプの故障と思われるので内容をよく調査し、早急に解決を図る。

前向きに取り組め

汚泥処理

N議員 ①汚泥・不法投棄対策として、今回二百五十万円が計上されているが、これで十分とは思われない。具体的にどのように推進するのか。

②し尿の海洋投棄に対する漁業補償は、当初予算で多額の補償費が計上されていたのに、今回また計上されている。補償交渉のときはっきり決めてなかったのか。

市長 ①汚泥処理はとくに門司、小倉の両区が遅れているので徹底的に処理する。不法投棄については、積極的に取りかたづけるが、悪質者は清掃法による告発等も考慮している。

②漁業補償を決めたとき、四十三年度で海洋投棄も終わるだろうとの予測で、打ち切り補償にしていた。

しかし現状は、下水道、終末処理場の整備が進むまでは投棄を続けねばならないので、今回、補償することになった。

私道の舗装に

補助金を

O議員 市道の舗装は年々普及されているが、市道より市民の利用度が高い道路がありながら私有地であるため、舗装もできず通行者や沿道の住民は困っている。

このような公道的性格をもって私道には市から助成金を出して舗装を促進してはどうか。

また、四十三年中に親馬六百三十頭、子馬四百五十頭が市内の殺場で処理されている。これらの馬肉は市内では売られていないと思うが、馬肉と牛肉を混入して売っていることも十分考えられる。

これら食肉の検査はどのようにされ、十分な監視体制はとられているか。

市長 町づくり道路の舗装がまだ多く残されているので、現状では私道に手をかけるよりも、まず市道の舗装に努力したい。将来町づくり道路の舗装が終わる段階で検討したい。

衛生局長 現在、と殺場では五人の検査員が厳重な監視をやっており、業者には検印を打って渡している。他の食肉と混入することはない。馬肉はすべてハム加工に利用されている。

常任委員会から

九月定例市議会に提案された一般会計の補正額は十八億円で、そのおもなものは労働費（失業対策事業）一億九千万円、土木費（道路や橋の新設・改良等）十億四千万円、建築行政費（市営住宅の建設・管理等）三億一千万円、教育費（小中学校建設）九千万円などです。

また、土地の先行取得を行なうための土地取得特別会計等新たに二つの特別会計が設けられました。

各常任委員会では、これらの補正予算のほかに各種条例の一部改正など二十七議案について審議し、次のような要望を付して、全議案を「可決すべきもの」と決めました。

国や他の市町村にも

働きかけよ

油症患者の生活救済
カネミ油症患者の生活資金貸付のため二百五十万円の予算が組まれました。

委員会では、この貸付けが今回一回限りとなっていることから、油症患者の生活救済策としては十分とはいえない。したがって、この制度を意義あるものにするようもつと検討するとともに、国や他の市町村に対しても患者の救済について強く働きかけるよう要望しました。

重、生徒が急増しています。市では、これら過規模学校を解消し教育効果を上げるために新しい学校を建設していますが、関係住民は、学校が遠くなり通学が不便になるうえ交通事故、痴漢の危険も多くなるという理由で新設校へ行くことに反対しているところもあります。

委員会で、新しく学校を造る場合は、関係住民とよく話し合ったうえで校区を編成し、開校にあたって支障をきたすことのないよう要望しました。また、新設校の設備充実についてもあわせて要望しました。

住民の意見を取り入れよ

市街化区域等の設定

また、カネミで製造された油が他社の表示で販売されている問題についても、カネミが社会的に大きな問題を引き起し、しかもその解決がつかない現在、他社の表示で販売が許されることは社会道徳上からみても好ましくないの

で、市民感情を考慮のうえ、市で強い行政指導を行なうよう要望しました。

住民と十分協議を

新設校の校区編成

最近では都市のドーナツ化現象に伴い、市街地周辺部の学校では児童

入院手術等の

財政措置を

老人開眼運動

老人福祉対策の一つとして、老人開眼運動のための眼科検診経費二十万円が組まれました。

この運動は、市内の老人性白内障患者等の視力回復を図るため、本年度いっせいで検診を行なうもので新しい施策です。

委員会では、今後本格的な予算を組み、入院手術等に必要なる財政措置を行なって眼の不自由な多数の老人の幸せ向上に努めるよう要望しました。

新都市計画法が昭和四十四年六月十四日に施行されました。

この法律は、都市計画に地域住民の意見を反映させ、また急速な都市化現象に伴う交通難、住宅難、公害の発生、地価の高騰等を解消し土地の高度利用を図ることを目的とするもので、市街化区域、市街化調整区域を設けることになっていきます。

これに対し当局からは、①公聴会を開催し住民の意見を直接聞く②審議会を設けて意見を聞く③なんらかの方法で議会の意見を聞くなどの方法があるが、どの方法をとるかは検討中であるとの答弁があり、委員会では、今後都市計画を立案する際は関係常任委員会と密接な連絡を保ち、計画に住民の意見を十分反映させるよう要望しました。

九月定例会で

決まったおもなもの

- ◇四十三年度一般会計決算の認定
- ◇四十三年度普通特別会計決算の認定（十七会計）
- ◇四十三年度企業会計決算の認定（四会計）
- ◇市立児童福祉施設条例の一部改正
小倉区中島児童館
若松区二島保育所
以上二か所を新設するものです。
- ◇山九交通遺児奨学金基金条例
山九運輸機工株式会社からの寄付金をもとにして、交通遺児奨学金基金を設置するものです。
- ◇特別会計条例の一部改正
寡婦福祉資金貸付特別会計および土地取得特別会計を新たに設置するものです。
- ◇国民健康保険の一部改正
国民健康保険の助産費の支給額を引き上げるものです。
- ◇土地の取得
仮称第二大原小学校用地の取得（八幡区大字香月字上ノ原）
- ◇四十四年度補正予算
一般会計 十八億二七三万七千円追加
普通特別会計 十億六、一二三万七千円追加



福岡県公安委員会委員
秋本 正夫
北九州市人事委員会委員
大岡 豊

九月定例市議会で、次の
かたがたが選ばれました。
委員
北九州市農業共済損害評価会委
八十四人（氏名略）

（敬称略）

請願と陳情



請願

採択されたもの

街灯の設置について

(八幡区上茶屋の原バス停付近)

防犯灯設置について

(小倉区下吉田、八幡区小嶺団地)

安全反射鏡および標識設置について

(小倉区真鶴町)

交通信号機設置について

(八幡区萩原小学校前、穴生中学校前、幸ノ神三丁目、銀天通り)

消防分室設置について (八幡区上津役)

公立保育所設置について 六件

公立乳児保育所設置について 四件

折尾保育所の定数増員について

母子寮の改築について (門司区)

水道本管布設ならびに取り替えについて (八幡区永大丸殿間町、東町四丁目、折尾日ノ出町四丁目)

給水設備布設について (八幡区丸山町山手)

清掃事業予備人員の確保について

電話ボックス設置について (八幡区本城夜越)

公衆赤電話の継続使用について (小倉区山路松尾)

自然休養林設置等について

黒崎祇園山笠行事に対する助成金交付について

道路ならびに歩道の舗装について (八幡区妙見町二丁目、本町、東鳴水町二丁目、穴生、京良城町、小嶺団地、萩原二丁目、小倉区大島二丁目、富野白藤町、富野須賀町、富野新町)

厚生省の人口推計によると、

将来老令人口の比率が圧倒的に高まる運命にあることは必然である。

よって政府は、これに対処するため生活環境の整備とともに

出産祝金として五千円から一万円、育児手当として一人月額三千円から五千円程度の支給を図るなどして、安心して子供を産めるような強力な措置を講ぜられるよう要望する。

人口政策に 関する意見書

しかしながら本市においては自動車保有台数の急激な増加によって、高度の汚染を受けつつあることは、公衆衛生上憂慮されるべき問題である。

よって、本市議会は、適切な「一酸化炭素その他有害物質の環境基準」を早急に設定することおよび今後発売される新車については「排気ガス防除装置の取付け義務を企業者に課する法体系の整備」を行なうよう要請する。

自動車排気ガス対策に 関する意見書

自動車排気ガス対策として、

国においては、九月一日より新車の一酸化炭素排出基準の引き下げ措置等規制の面においても強化されつつあることは十分承知しているところである。

「意見書」

「意見書」

「意見書」

「意見書」

「意見書」

「意見書」

「意見書」

「意見書」

「意見書」

「意見書」

「意見書」

城野駅前大通り、屏賀坂町、曾根、戸畑区小芝三丁目、沢見三丁目、門司区小森江観音町三丁目、吉志、折戸口団地

北平野公園整備について

児童公園建設について (若松区東二島)

横断歩道橋設置について (八幡区下上津役八反ヶ坪交差点、下上津役バス停付近)

岸ノ浦地内の整備促進等について

排水工事施行について (小倉区富士見町一丁目)

排水溝整備について (八幡区皇后崎町)

側溝整備について (八幡区折尾日ノ出町)

西港町市道三十八号線の路面舗装について (小倉区上徳力)

通学道路新設について (小倉区下吉志)

河川護岸工事について (門司区下吉志)

小倉養護学校新校舎の早期建築について

小倉養護学校スクールバス増配について

公害に伴う学校教育の措置について

霧ヶ丘小学校校仮校舎の本建築について

霧ヶ丘小学校図書館建設について

公立幼稚園設置について (戸畑区)

体育館、プールおよび産業教室等の建設について (沖田中学校)

普通教室の増築について (沖田中学校)

中井小学校校舎の増築について (沖田中学校)

松ヶ江北小学校伊川分校の水道施設設置について

不採択になったもの

清掃事業計画の改善について

清掃事業作業員および器材の増強について

清掃事業の統一車付人員基準再考について

清掃事業の業者委託取りやめについて

清掃事業従事職員の賃金等の改善について

松ヶ江北小学校伊川分校の独立ならびに校舎建設について

陳情

採択されたもの

交通信号機設置について (小倉区井堀、湯川)

ばい煙騒音防止対策について

広徳小学校教室の増設について

カネミライスオイル被害者救済の生業資金貸与について

不採択になったもの

養豚場に対する利子補給等について

議会のしくみなどでお尋ねしたいことがあればお答えします。

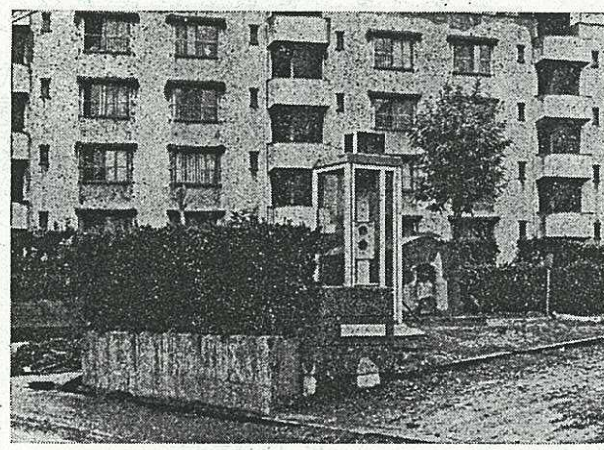
電話 八八―四五九一 議事事務局調査課

電話 八八―四五九一 議事事務局調査課

電話 八八―四五九一 議事事務局調査課

電話 八八―四五九一 議事事務局調査課

電話 八八―四五九一 議事事務局調査課



請願が採択されつくられた電話ボックス

〔主世帯配布〕 〔編集〕 北九州市議会事務局 〔印刷〕 東海印刷株式会社 (小倉区)